+4				·니/ I #니증 l	授業科目	電気演習 Ⅱ	
	了工業高等 	++1 1丁1久		1021 1/2)			
科目基础		D005011		NDE A	本四 / N	hAr	
科目番号		R03E214		科目区分		門/必修	
授業形態		授業	- 告む	単位の種別と単位	//2/2 / /=	履修単位: 1	
開設学科	•	電気電子エ	<u>-</u> 字科	対象学年		2	
開設期	/h_1_1	前期					
			F) プリント使用 数研出版 チャート式(青) 数 I		+ A II + B		
担当教員		石川 誠司					
到達目標		/\	(
(2) 導関数 (3) ベク (4) ベク	数を求められた。 トルの概念を トルの演算が	分に理解できる れるようになり を十分理解でき ができるように	5. (定期試験)),導関数を用いた簡単な応用計算が 5る. (定期試験) なり,ベクトルを用いた簡単な応用記	できる.(定期試験 計算ができる.(定	•		
ルーブ!	リック			+			
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1			微分の概念を十分に理解できる	微分の概念を理解	ごできる	微分の概念を理解できない	
評価項目2	2		導関数を用いた応用計算ができる ・	導関数を用いた簡単できる.	単な応用計算が	導関数を用いた計算ができない.	
評価項目:	3		ベクトルの概念を十分理解できる	ベクトルの概念を	クトルの概念を理解できる. ベクトルの概念を理解		
評価項目4			ベクトルを用いた応用計算ができ る.	ベクトルを用いた(ができる.	簡単な応用計算	ベクトルを用いた計算ができない	
学科の	到達目標了	項目との関係	~				
学習・教	育目標 (B1)					
教育方法	<u></u> 法等						
			学ぶ微分積分 I と線形代数は,電気電子工学を学んで行く上での基礎となる重要な科目であり,数学力は今後 目を理解するためにも必要不可欠な力である.本科目では,数学演習に重点を置き,演習を通して数学力の向 演習では,毎回,担当教員が作成した演習プリントを配布して各自で問題を解く.これによって,理解でき った部分の洗い出しを行うと共に,演習を通して微分積分と線形代数の理解を深める.				
授業の進め方・方法 埋しておく		(事前学習	習)微分積分,線形代数の講義進度に合わせて演習問題を行うため,教科書等を使用してわからない問題を整				
投業の進	め方・方法	<u>チャート式</u> (履修上の	t I +A, チャート式Ⅱ+B, プリント D注意)				
注意点	め万・万法	チャート式 (履修上の 微分積分 I は随時受け (自学上の	【 I +A, チャート式 II + B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らした け付ける. 授業時間内に完全解答を行	合わせた演習問題を うこと.	毎回配布し, 挌		
注意点	め万・万法	チャート式 (履修上の 微分積分 I は随時受け (自学上の	【 I +A, チャート式 II + B, プリント ○注意) および線形代数の講義進度と照らした け付ける. 授業時間内に完全解答を行う ○注意)	合わせた演習問題を うこと.	毎回配布し, 挌		
注意点評価	の平均点	チャート式 (履修上の 微分積分 I は随時受け、 (自学上の 基礎数学 I 100%	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント 対注意) および線形代数の講義進度と照らした 付ける.授業時間内に完全解答を行う 注意) ・Ⅱや微分積分Ⅰ,線形代数といった。	合わせた演習問題を うこと.	毎回配布し, 挌		
注意点 評価 定期試験: 再試験:	の平均点 基本的に再	チャート式 (履修上の 微分積分 I は随時受い (自学上の 基礎数学 I 100% 試験は行わない	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント 対注意) および線形代数の講義進度と照らした 付ける.授業時間内に完全解答を行う 注意) ・Ⅱや微分積分Ⅰ,線形代数といった。	合わせた演習問題を うこと.	毎回配布し, 挌		
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履	チャート式 (履修上の区分	【 I +A, チャート式 II + B, プリント ○注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。	合わせた演習問題を うこと. た他の関連科目で学	毎回配布し, 挌	罪しておくこと.	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再	チャート式 (履修上の 一般が有分 I は随時学しの 基礎数学 I 100% 試験は行わない 修上の区分	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント 対注意) および線形代数の講義進度と照らした 付ける.授業時間内に完全解答を行う 注意) ・Ⅱや微分積分Ⅰ,線形代数といった。	合わせた演習問題を うこと.	毎回配布し, 挌	罪しておくこと.	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履(ティブラー:	チャート式 (履修上の 一般が有分 I は随時学しの 基礎数学 I 100% 試験は行わない 修上の区分	【 I +A, チャート式 II + B, プリント ○注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。	合わせた演習問題を うこと. た他の関連科目で学	毎回配布し, 投	罪しておくこと.	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履(ティブラー:	チャート式 (履修上の 微分積分 I は随時受い (自学上の 基礎数学 I 100% 試験は行わない 修上の区分	【 I +A, チャート式 II + B, プリント ○注意) および線形代数の講義進度と照らした がけける. 授業時間内に完全解答を行う ○注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった N	合わせた演習問題を うこと、 た他の関連科目で学	毎回配布し,持	留しておく <i>こと</i> . □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履(ティブラー:	チャート式 (履修上の 微分積分 I は随時受い (自学上の 基礎数学 I 100% 試験は行わない 多上の区分	【 I +A, チャート式 II + B, プリント ○注意) および線形代数の講義進度と照らしま け付ける. 授業時間内に完全解答を行う ○注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といっか 1	合わせた演習問題を うこと、 た他の関連科目で学 図 遠隔授業対応	毎回配布し、技	曜しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履(ティブラー:	チャート式 (履修上の 微分積分 I は随時子上の 基礎数学 I 100% 試験は行わない 多上の区分 ニング	【 I +A, チャート式 II + B, プリント ○注意) および線形代数の講義進度と照らしま け付ける. 授業時間内に完全解答を行う ○注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ E業内容 1 年生で習った全ての関数とそのグラ	合わせた演習問題をうこと、 た他の関連科目で学	毎回配布し、技術でいます。	解しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 票 ついて理解できる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履(ティブラー:	チャート式 (履修上の (機修上の (機動等学に (基礎数学 I 100% 試験は行わない 修上の区分 ニング	【I+A, チャート式I+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしたけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ IET 利用 □ IET 利用	合わせた演習問題をうこと、 た他の関連科目で学 ② 遠隔授業対応 フ 4	毎回配布し、搭 んだことを理解 過ごとの到達目標 基本的な関数に	解しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ のいて理解できる 「解できる」	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履(ティブラー:	チャート式 (履修上の 微分積分 I (は随時学上の (事礎数学 I 100% 試験は行わない 修上の区分 ニング	(TI+A, チャート式II+B, プリント が注意) および線形代数の講義進度と照らした がけける. 授業時間内に完全解答を行う が注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった I	合わせた演習問題を うこと. た他の関連科目で学 図 遠隔授業対応 フ	毎回配布し、技術との到達目標をあるとのでである。	解しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 票 ついて理解できる 解できる こついて理解できる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履(ティブラー:	チャート式 (履修上の 微分積分 I (は随時学上の 基礎数学 I 100% 試験は行わない 多上の区分 ニング	【 I +A, チャート式 II + B, プリント 注意) および線形代数の講義進度と照らした 付ける。授業時間内に完全解答を行う注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった 図 ICT 利用 図業内容 1 年生で習った全ての関数とそのグラ 図限の計算 算関数のグラフ表現と計算 1 真関数のグラフ表現と計算 2	合わせた演習問題を うこと、 た他の関連科目で学 ② 遠隔授業対応 フ	毎回配布し, 技 んだことを理解 過ごとの到達目相 基本的な関数に	解しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる 解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画	チャート式 (機を上の (機分積分) (は随時学との (基礎数学) 100% (基礎数学) 100% (表述) (表述) (表述) (表述) (表述) (表述) (表述) (表述)	【I+A, チャート式I+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らした がけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・IIや微分積分 I, 線形代数といった 図 ICT 利用 ② ICT 利用 ② ICT 利用 ② IGT 利用 ② IGT 利用 ② IGT 利用 ② IGT 利用	合わせた演習問題を うこと、 た他の関連科目で学 図 遠隔授業対応 フ	毎回配布し、技 がたことを理解 を を を を を を を を を は に で い で は り は に で り で り で り で り で り で り で り で り で り で	解しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる 好できる こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画	チャート式 (微分原体) の (は) の (は) の (は) の (は) の (を) が (は) の (を) が (を) か (を) か (を) か (を) が (で) が (【I+A, チャート式I+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける。授業時間内に完全解答を行う注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といっか □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ IGT N □ IGT	合わせた演習問題を うこと、 た他の関連科目で学	毎回配布し、搭 がたことを理解 が が を を を を が は に で い で り り り り り り り り り り り り り り り り り	解しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる 解できる こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画	チャート式 (微分時子の (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は) (は)	ボI+A, チャート式Ⅱ+B, プリント ○注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける。授業時間内に完全解答を行う注意) ・ Ⅱや微分積分Ⅰ,線形代数といった □ ICT 利用 □ ICT N	合わせた演習問題を うこと。 た他の関連科目で学 図 遠隔授業対応 フ	毎回配布し、技 がんだことを理解 さんだことを理解 を を を を を で は で で で で で で で で で で で で で	解しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 悪 ついて理解できる 解できる こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる こついて理解し、計算値を算出できる	
注意点 評価 定期試験: 受業の原 フクラ	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画	チャート式 (微分時子の (数分時学上の (基準数学 I 100% は行わない (多上の区分 ニング) 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ Ⅱ や微分積分 I , 線形代数といった。	合わせた演習問題を うこと。 た他の関連科目で学 図 遠隔授業対応 フ	毎回配布し、技 がんだことを理解 さんだことを理解 を を を を を で は で で で で で で で で で で で で で	解しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる 解できる こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原 フクラ	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画	チャート かった で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。 ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。 I 年生で習った全ての関数とそのグラ I にて利用 「関数のグラフ表現と計算 1 算関数のグラフ表現と計算 2 算関数の計算訓練と応用 「クトルの和・差・実数倍・内積 「クトルの内積とその応用, ベクトル 逆三角関数・導関数の計算訓練 前期中間テスト 前期中間テスト 前期中間テスト 前期中間テスト	合わせた演習問題を うこと。 た他の関連科目で学 図 遠隔授業対応 フ	毎回配布し、技 がたことを理解 がしたことを理解 を を を を が を は で いて理 り り り 数のグラフ り り り り で り り り り り り り り り り り り り り	解しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 悪 ついて理解できる 解できる こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる こついて理解し、計算値を算出できる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原 フクラ	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画	チャート式 (微分時子) (は (【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしたけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ Ⅱ や微分積分 I , 線形代数といった。	合わせた演習問題を うこと。 た他の関連科目で学 ② 遠隔授業対応 フ	毎回配布し、哲心だことを理解を表すの対象にでは、例のでは関数にでは、例のでは、例のでは、例のでは、例のでは、例のでは、例のでは、例のでは、例の	詳しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる □ こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる	
注意点 評価 定期試験: 受業の原 フクラ	の平均点 基本的に再 属性・履行 ティブラー <u>-</u> 画	チャート式 (大)	式 I +A, チャート式 II +B, プリント 注意) および線形代数の講義進度と照らしまかけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。 図 ICT 利用 図 ICT 利用 図 ICT 利用 の計算 以表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	合わせた演習問題を うこと。 た他の関連科目で学	毎回配布し、持 他だことを理解 他だことを理解 他でとの到達目標 を取について理解 原はのグラフに 算関数のグラフに 算関数のがラフに 算関数のがラフに は でクトル方程式に がでクトル方程式に がでクトル方程式に がでクトル方程式に ができる。	深しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 悪 ついて理解できる 解できる こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる こついて理解できる こついて理解できる いて理解できる いて理解できる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原 フクラ	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画	チャー チャー チャー チャー イン イン イン イン イン イン イン イ	以 I +A, チャート式 II +B, プリントの注意) および線形代数の講義進度と照らしたけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。 ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。 図 ICT 利用 図 ICT 利用 図 ICT 利用 図 ICT 利用 の計算 関数のグラフ表現と計算 1 真関数のグラフ表現と計算 2 真関数の計算訓練と応用 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの内積とその応用, ベクトル 逆三角関数・導関数の計算訓練 前期中間テスト	合わせた演習問題を た他の関連科目で学	毎回配布し、持たことを理解をしたことを理解をしたことを理解をしたの到達目標を取るである。 関数のグラフに 算関数のグラフに 算関数の計算が ベクトル方程式に が、クトル方程式に が、クトルカスをできる。 対数・指数・逆に が、クトルがらが、 が、クトルに が、クトルに が、クトルに	深しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる 正ついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原 フクラ	の平均点 基本的に再 属性・履行 ティブラー <u>-</u> 画	チェク チェク ボック ボッ	ボI+A, チャート式II+B, プリント 対注意) および線形代数の講義進度と照らした がける。授業時間内に完全解答を行う注意) ・IIや微分積分I, 線形代数といった I 空 ICT 利用 図業内容 1 年生で習った全ての関数とそのグラ I 変集内容 2 原関数のグラフ表現と計算 1 「関数のグラフ表現と計算 2 「関数の計算訓練と応用 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの内積とその応用, ベクトル ビ三角関数・導関数の計算訓練 前期中間テスト が対象・指数の導 関数からグラフを書く訓練 2 次元ベクトルと 3 次元ベクトル	合わせた演習問題を た他の関連科目で学	毎回配布し、持たことを理解してという。 過ごとの到達目標をあるという。 基本的な関数にでは、 原関数のグラフには、 算関数のグラフには、 算関数のがラフには、 算関数のがラフには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	深しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる □ こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる こついて理解できる	
注意点 評価 定期試験: 授業の原 フクラ	の平均点 基本的に再 属性・履行 ティブラー <u>-</u> 画	チェの チェの チェの チェの ボット ボッ	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける。授業時間内に完全解答を行う注意) ・ Ⅱや微分積分 I , 線形代数といっか 図 ICT 利用 ② ICT NA	合わせた演習問題を た他の関連科目で学	毎回配布し、持たことを理解してという。 過ごとの到達目標をあるという。 基本的な関数にでは、 原関数のグラフには、 算関数のグラフには、 算関数のがラフには、 算関数のがラフには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	深しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる □ いて理解できる □ ついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる □ ついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こうびまくことができる	
注意点 評価 定期試験: 再試験: 授業の原 フクラ	の平均点 基本的に再 属性・履行 ティブラー <u>-</u> 画	チェの チェの チェの ボック ボッ	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ II や微分積分 I , 線形代数といっか ・ II や微分積分 I , 線形代数といっか 図 ICT 利用 受業内容 1 年生で習った全ての関数とそのグラ 図限の計算 算関数のグラフ表現と計算 1 算関数のグラフ表現と計算 2 導関数の計算訓練と応用 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの内積とその応用, ベクトル 逆三角関数・導関数の計算訓練 前期中間テスト 前期中間テスト 前期中間テスト 前期中間テスト 前期中間テスト が関数・ 導関数の計算訓練 が関数の計算訓練 が関サーロアスト が関サーロアスト が関サーロアスト が関サーロアスト が関サーロアスト が関サーロアスト が関サーロアスト が関サーロアスト が関サーロアスト が関サーロアスト が関数がらグラフを書く訓練 2 次元ベクトルと3 次元ベクトル ブラフの概形を知る増減表 2 階微分・接線の方程式・ロピタルの	合わせた演習問題を た他の関連科目で学	毎回配布し、持たことを理解してという。 過ごとの到達目標をあるという。 基本的な関数にでは、 原関数のグラフには、 算関数のグラフには、 算関数のがラフには、 算関数のがラフには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	深しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる □ いて理解できる □ ついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる □ ついて理解できる □ フを書くことができる □ フを書くことができる □ フを書くことができる	
注意点 評価 定期試験: 対策の 対策の 対策を 対策を がある。 はずる	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画 1stQ	チェの チェの チェの チェの ボック ボッ	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ Ⅱや微分積分 I , 線形代数といった。 図 ICT 利用 図 ICT 利用 の計算 関数のグラフ表現と計算 1 関数のグラフ表現と計算 2 関数のがラフ表現と計算 2 関数の計算訓練と応用 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの内積とその応用, ベクトル 逆三角関数・導関数の計算訓練 前期中間テスト 「世別数の計算訓練	合わせた演習問題を た他の関連科目で学	毎回配布し、持たことを理解してという。 過ごとの到達目標をあるという。 基本的な関数にでは、 原関数のグラフには、 算関数のグラフには、 算関数のがラフには、 算関数のがラフには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	深しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる □ いて理解できる □ ついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる □ ついて理解できる □ フを書くことができる □ フを書くことができる □ フを書くことができる	
注意 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画 1stQ	チレの チレク チレ	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしたけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ I や微分積分 I , 線形代数といった。 ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。 図 ICT 利用 図 ICT 利用 図 ICT 利用 図 ICT 利用 図 ICT 利用 の計算 関数のグラフ表現と計算 1 真関数のがラフ表現と計算 2 真関数の計算訓練と応用 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの内積とその応用, ベクトル 逆三角関数・導関数の計算訓練 前期中間テスト 前期中間テスト 前期中間テスト 前期中間テスト が関数からグラフを書く訓練 2 次元ベクトルと3次元ベクトル ブラフの概形を知る増減表 2 階微分・接線の方程式・ロピタルの 前期期末テスト	合わせた演習問題を た他の関連科目で学	毎回配布し、持たことを理解してという。 過ごとの到達目標をあるという。 基本的な関数にでは、 原関数のグラフには、 算関数のグラフには、 算関数のがラフには、 算関数のがラフには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	□ 実務経験のある教員による授業 票 ついて理解できる 解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる できる 関係を理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる ブラフを書くことができる ブラフを書くことができる グラフを書くことができる	
注 デ 定 再 授 一 授 デ ガ ガ ガ ガ ガ デ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ	の平均点 基本的に再 属性・履行 ティブラーコ a 1stQ	チェの チェの チェの チェの ボック ボッ	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ Ⅱや微分積分 I , 線形代数といった。 図 ICT 利用 図 ICT 利用 の計算 関数のグラフ表現と計算 1 関数のグラフ表現と計算 2 関数のがラフ表現と計算 2 関数の計算訓練と応用 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの内積とその応用, ベクトル 逆三角関数・導関数の計算訓練 前期中間テスト 「世別数の計算訓練	合わせた演習問題を た他の関連科目で学	毎回配布し、持たことを理解してという。 過ごとの到達目標をあるという。 基本的な関数にでは、 原関数のグラフには、 算関数のグラフには、 算関数のがラフには、 算関数のがラフには、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	深しておくこと. □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ いて理解できる □ いて理解できる □ ついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる □ ついて理解できる □ フを書くことができる □ フを書くことができる □ フを書くことができる	
注 デ 定 再 授 一 授 デ ガ ガ ガ ガ ガ デ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ ガ	の平均点 基本的に再 属性・履行 ティブラーコ a 1stQ	チレの チレク チレ	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしまけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ Ⅱや微分積分Ⅰ,線形代数といった・ Ⅲや微分積分Ⅰ,線形代数といった・ Ⅲや微分積分Ⅰ,線形代数といった・ Ⅲや微分積分Ⅰ,線形代数といった・ Ⅲや微分積分Ⅰ,線形代数といった・ Ⅲを取る □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	合わせた演習問題を た他の関連科目で学 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 表	毎回配布し、持たことを理解をしたことを理解をしたことを理解をしたの到達目標をいて到ります。 「はないでは、「はないでは、「はないでは、では、これでは、では、これでは、では、これでは、これでは、これでは、これで	□ 実務経験のある教員による授業 票 ついて理解できる 解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる 対係を理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる ブラフを書くことができる ブラフを書くことができる ブラフを書くことができる ブラフを書くことができる ブラフを書くことができる ブラフを書くことができる	
注意点定期試験: 対策の原理 アクラー 授業計画 前期	の平均点 基本的に再 属性・履 ティブラーコ 画 1stQ	チレの チレク チレ	【I+A, チャート式Ⅱ+B, プリント)注意) および線形代数の講義進度と照らしたけける. 授業時間内に完全解答を行う注意) ・ I や微分積分 I , 線形代数といった。 ・ II や微分積分 I , 線形代数といった。 図 ICT 利用 図 ICT 利用 図 ICT 利用 図 ICT 利用 図 ICT 利用 の計算 関数のグラフ表現と計算 1 真関数のがラフ表現と計算 2 真関数の計算訓練と応用 ベクトルの和・差・実数倍・内積 ベクトルの内積とその応用, ベクトル 逆三角関数・導関数の計算訓練 前期中間テスト 前期中間テスト 前期中間テスト 前期中間テスト が関数からグラフを書く訓練 2 次元ベクトルと3次元ベクトル ブラフの概形を知る増減表 2 階微分・接線の方程式・ロピタルの 前期期末テスト	合わせた演習問題を た他の関連科目で学	毎回配布し、持たことを理解をしたことを理解をしたことを理解をしたの到達目標をいて到ります。 「はないでは、「はないでは、「はないでは、では、これでは、では、これでは、では、これでは、これでは、これでは、これで	□ 実務経験のある教員による授業 票 ついて理解できる 解できる こついて理解できる こついて理解し、計算値を算出できる できる 関係を理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる こついて理解できる プラフを書くことができる ブラフを書くことができる グラフを書くことができる	

専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0